

# 株式会社okicom

## 2030年のあるべき姿(ビジョン)



弊社のビジョンである「ITの力で地域経済の発展と持続可能な社会実現を目指す」は、SDGsの達成を目指すものであり、社員一人ひとりが業務を行う上で自覚し、それぞれの職務を全うすることでSDGs達成を目指す。弊社が立ち上げた「沖縄DXプロジェクト」を展開し、今後2年間でIT技術を活用しながら、伝統工芸の普及、ゴミを出さない循環型ビジネスモデルの構築を行う。

## 認証期間において特に注力する活動・取組

取組概要		
経済	沖縄DXプロジェクトにおける、琉球びんがた産業の発展に向けた知財活用、及び商品開発の推進	一般社団法人 琉球びんがた普及伝承コンソーシアムを設立し、会員企業と共同し琉球紅型の魅力を全世界に広める取り組みや、著作権問題や後継者問題などの課題解決に取り組んでいる。
社会	企業活動の紹介を通じて学生の環境意識を高め、IT領域を活用したSDGsの情報提供	学生を対象とした会社説明会を開催し、事業内容だけでなくSDGsへの取り組みを紹介する。学生が「企業活動と社会課題のつながり」を理解できるよう、質疑応答やディスカッションの時間も設ける
環境	バガスアップサイクルプロジェクト普及展開	株式会社BAGASSE UPCYCLEを設立し、かりゆしの搾りかす(バガス)を利用した循環型経済ビジネスモデルを構築する。旅行会社や宿泊施設とタイアップし、かりゆしウェアのシェアサービスを提供する。
社会	従業員が安心して休暇を取得できる環境を整備し、有給休暇消化率を向上させる	従業員の心身の健康維持とワークライフバランスの推進を目的として、有給休暇の取得促進に取り組む。取得率の測定を開始し、離職率や従業員満足度との関連分析を行うことで、人的資本経営の指標として活用する。
環境	脱炭素経営の推進	脱炭素経営に関して、Scope 1 及び 2 の算出を行い、SBTへの登録を行うと共に、CO2排出量の削減に取り組む。利用する電力についても再生エネ使用に切り替える。